

令和2年度 個別学力検査（前期日程）

問題冊子

小論文（120分）

保健学科鍼灸学専攻
保健学科理学療法学専攻
情報システム学科

注意事項

1. 指示があるまで問題冊子を開かないこと。
2. 問題は、9頁あります。
3. 配点は、100点満点になります。

第1問 次の文章を読んで後の問いに答えよ。(配点 30)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

渡辺佑基（わたなべ・ゆうき）『進化の法則は北極のサメが知っていた』（河出書房新社、2019年）、pp.338-340より。

注1 銜い：才能や知識をひけらかすこと。

注2 韜晦：才能や知識をつつみ隠して表に出さないこと。

注3 ポスドク研究員：博士号取得後に就く任期制研究員。

注4 熱力学：熱を力学的エネルギーに変換することを研究する学問分野。

注5 極軌道：南北の極付近を通り赤道を大きな角度で横切る衛星軌道。低高度を短い周期で地球を南北方向に周回する。

問 筆者の考えを受けて、これからあなたが大学で専攻しようとしている学問分野において、どのような目標を立て、どのような視点から学習に臨みたいと考えているか、200字以内で論ぜよ。

第2問 以下は、あるコンビニエンスストア・チェーンの「令和のコンビニに期待するものは何ですか？」という呼びかけに寄せられたアイデアの2例である。あなたなら、どのようなアイデアを提案するか。例を参考に300字以内であなたの提案を説明せよ。ただし、提案に当たっては一般的なコンビニ店舗のスペースと設備等を使って可能なこととし、さらに、今後何年くらいで実現させたいアイデアかを示すこと。 (配点 40)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

『令和のコンビニに期待するものは何ですか?』日本経済新聞、
2019年7月22日電子版、

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO47460760X10C19A7TBU000/>より (一部改変)。

第3問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。 (配点 30)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

脇中起余子（わきなか・きよこ）『「9歳の壁」を越えるために：生活言語から学習言語への移行を考える』（北大路出版、2013年）、pp.46-47より（一部改変）。

注1 アルゴリズム：問題を解くための手順を定式化した形で表現したもの。

注2 ピアジェ：20世紀の代表的心理学者。子供の認知発達を研究し発生的認識論を提唱した。

注3 名目的：体裁だけが備わっているさま。

問 「具体的」、「形式的」という思考の区分に関する従来の考え方（ピアジェ）と銀林氏の考え方の違いを筆者の解説に沿って200字以内で説明せよ。